

1 単元名 “Hi, friends!2” Lesson5 “Let’s go to Italy.” 友達を旅行にさそおう

2 単元設定の理由

○ 本学級の児童は、第5学年から“Hi, friends!”を主体として外国語活動を行っている。第6学年では、“Do you have ~?”, “When is your birthday?”, “Can you ~?”等の表現を使ってNSや友達と伝え合う活動を経験してきた。また、7月には海外福岡県人会の子どもたちを招き、英語を使って自己紹介をしたり、簡単なゲームをしたりして交流した。ネイティブの方と話すことはとても難しかったようだが、これまで慣れ親しんできた英語が少し通じたことは、多くの児童にとっていい経験になったようである。

9月にとったアンケートの結果を見ると、全ての児童が「外国語活動はとても楽しい／楽しい」と答えている。その理由として、「ゲームが楽しいから」「楽しく英語を覚えられるから」「NSの先生が明るく楽しいから」といった、ゲームを通して楽しく学べる点やNSと関われる点を挙げた児童が多く見られた。しかし、活動を通して友達と関わることの楽しさや、異文化について気づくことなどについて書いた児童は少なかった。また、コミュニケーションの場面においては、その単元で慣れ親しんだ表現を使ってやりとりをする姿は見られたものの、これまでに親しんだ表現を使って会話を続けようとする姿はあまり見られなかった。

○ 本単元は、「自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。」「行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。」「世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。」ことをねらいとしている。

本単元でおすすめの国を紹介し合うことには、2つの意義がある。1つ目は、友達にすすめる際に、“I like ~.”や“Do you like ~?”, “What ○○ do you like?”など、これまでに親しんだ英語をたくさん使える点である。対話を続けるための表現例を掲示しておき、自分が使えそうな表現を選び取ることができるようにしておくことで、英語に苦手意識をもっている児童でも安心して活動に参加することができる。2つ目は、世界の様々な国への興味をもつことができる点である。NSのおすすめの国の話を聞いたり、本やインターネットで調べ学習をしたりする中で、世界の様々な国の文化や生活に触れることであろう。さらに、様々な国の文化や生活に目を向けることを通し、自分たちの住む日本の生活に興味、関心が高まることも期待する。

○ 指導にあたっては、第1時では、様々な国で様々な人々が生活していることに気づくこと、単元のゴールの姿に見通しをもつことをねらいとしている。そのために、県人会の子どもたちと交流した体験を取り上げ、児童の知っている国を挙げさせたり、「国あてクイズ」をしたりする。また、NSのおすすめの国の紹介を聞かせ、自分も友達におすすめの国を紹介したいという意欲をもたせる。

第2、第3時では、おすすめの国を紹介するときに使う単語や表現に慣れ親しむことをねらいとしている。そのために、チャンツやゲーム等を通して、音声をたくさん聞かせたり、繰り返し発話させたりする。また、国名などの簡単な英単語については書き写しながら紹介カードを作るようにする。

第4時では、ペアでおすすめの国のよさを伝え合い、よりよい発表にするためにアドバイスをし合うことをねらいとしている。そのために、NSとのデモンストレーションを見せ、よさが伝わるような発表の仕方について考えさせ、対話を続けるための表現の掲示物の中から使えそうな表現を選び取らせる。また、友達と発表を聞き合うコミュニケーション活動①を行い、アドバイスをし合い、自分の発表を見直すようにする。

第5時では、友達におすすめの国のよさが伝わるように紹介し合うことをねらいとしている。そのために、担任とNSのデモンストレーションを見せ、話し手だけでなく聞き手の工夫についても考えさせる。そのうえで、おすすめの国を伝えあうコミュニケーション活動②を行う。

3 目標

- 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(言語への慣れ親しむ)
- 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

4 表現

- ・ Where do you want to go? ・ I want to go to ～. ・ Let's go to ～. ・ 国名
- ・ I like ～. ・ You can see (eat) ～. ・ Do you like ～? ・ What○○do you like? ・ 食べ物 ・ 場所 など

5 単元計画 (全5時間 本時は○囲み)

| 時 | 段階 | 目標と主な活動 | 評価の観点 | | | 評価 |
|---|------|--|-------|---|---|--|
| | | | コ | 慣 | 気 | 評価規準〈方法〉 |
| 1 | 出会う | 世界の国々に興味をもち、単元のゴールの姿の見通しをもつとともに、国名に慣れ親しむ。 「国あてクイズ」 「NS のおすすめの国紹介を聞こう」 「キーワードゲーム (国名)」 | | | ◎ | 世界には様々な国があり、そこには様々な自然、遺産、文化、生活などがあることに気付いている。【気】 〈行動観察・ふり返しカードの分析〉 |
| 2 | 関わる | 国名や、行きたい国を尋ねたり言ったり、理由を言う表現に慣れ親しむ。 【Chant】 Let's go to Italy.② 「ドンジャンゲーム」 「なりきり紹介ゲーム」 | | ◎ | | 国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を言ったりなりきりゲームをしている。また、行きたい理由も言っている。【慣】 〈行動観察・ふり返しカード分析〉 |
| 3 | | 紹介カードを作り、国名や、行きたい国の尋ね方と答え方、理由を言う表現に慣れ親しむ。 【Chant】 Let's go to Italy.③ 「おすすめの国紹介カードを作ろう」 | | ◎ | | 国名などを英語で書き写したり、行きたい国の尋ね方や答え方、理由をいう表現を考えたりしながら、紹介カードを作っている。【慣】 〈行動観察・ふり返しカード点検〉 |
| 4 | 伝え合う | おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を用いてコミュニケーション活動①をしたり、友達の発表を聞いてアドバイスしたりする。 【Chant】 Let's go to Italy.②③ 「ペア発表会をしよう」 | ◎ | | | おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を用いながら発表をしたり、友達のアドバイスを聞いて自分の発表を見直したりしている。 【コ】 〈行動観察・ふり返しカード点検〉 |
| ⑤ | | おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を用いてコミュニケーション活動②をする。 【Chant】 Let's go to Italy.②③ 「おすすめの国発表会をしよう」 | ◎ | | | おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を用いながら相手に伝わるように発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしている。【コ】 〈行動観察・ふり返しカード点検〉 |

6 単元の評価規準

| 単元目標 | <p>1. 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。(コ)</p> <p>2. 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(慣)</p> <p>3. 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。(気)</p> | | |
|---|---|--|---|
| 評価規準 | <p>○ 相手に伝わるように工夫して自分の行きたい国を発表したり、相手の発表を積極的に聞いたりしている。(コ)</p> <p>○ Where do you want to go?の表現を用いておすすめの国を尋ねたり、I want to go to～の表現を用いておすすめの国を紹介したりしている。(慣)</p> <p>○ 世界には様々な国があり、そこには様々な自然、遺産、文化、生活などがあることに気付いている。(気)</p> | | |
| 観点 | 評価場面と方法 | おおむね満足な姿 | ※おおむね満足な姿に達するための支援 |
| 言語や文化に関する 気づき | <p>【第1時】 国あてクイズをしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)</p> | <p>○ クイズや NS のおすすめの国紹介をよく聞いている。 ・どこの国か想像しながら聞き、自分も紹介カードを作りたいと思っている。</p> <p>○ 国名や、行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を言っている。</p> | <p>※ 児童と一緒に NS の話を聞き、大きく反応したり共感したりする。</p> <p>※ 国名カードを視覚的に提示しながら、繰り返し言う練習をする。</p> <p>※ ゲームをしながら、児童と一緒に clear voice で言う。</p> |
| 外国語への慣れ親し み | <p>【第2時】 なりきり紹介ゲームをしている場面 (行動観察)(ふり返りカード点検)</p> | <p>○ 行きたい国について紹介している。</p> | <p>※ ゲームをしながら、児童と一緒に clear voice で言う。</p> |
| | <p>【第3時】 おすすめの国紹介カードを作っている場面 (行動観察)(ふり返りカード点検)</p> | <p>○ 対話を続けるための表現を用いて紹介する文を考えている。</p> <p>○ おすすめの国カードに国名を書き写している。</p> | <p>※ 国名は4線に自分で書き写すことができるように、お手本を用意しておく。</p> <p>※ 対話を続けるための表現を載せた掲示物を用意しておく。</p> |
| コミュニ ケー ション への関 心・意 欲・態度 | <p>【第4時】 コミュニケーション活動 ①をしている場面 (行動観察)(ふり返りカード点検)</p> | <p>○ おすすめの国について、基本表現と対話を続けるための表現を用いてペアで交流をしている。</p> <p>○ 友達の発表を聞いて、アドバイスをしている。</p> | <p>・ 掲示している対話を続けるための表現に目を向けさせる。</p> <p>・ 担任や NS が尋ね方や答え方を教え、一緒に発表する。</p> |
| | <p>【第5時】 コミュニケーション活動 ②をしている場面 (行動観察)(ふり返りカード点検)</p> | <p>○ おすすめの国について、基本表現と対話を続けるための表現を用いてグループで交流をしている。</p> <p>○ コミュニケーションポイントを生かして交流している。</p> | <p>※ 掲示物を確認させたり、児童と一緒に言ったりする。</p> <p>※ 手本となる児童を全体の場で称賛する。</p> |

7 本時

平成29年11月30日（木）

8 本時指導の考え方

- 本時は、本単元のゴールである、おすすめの色を紹介し合う場面である。児童は前時まで、ゲームやチャンツを通して基本表現に慣れ親しんだり、対話を続けるための表現を取り入れながら紹介カードを使ってコミュニケーション活動①をしたりしてきている。そこで、本時では、相手におすすめの色のよさが伝わるように発表したり、積極的に友達の発表を聞いたりすることをねらいとしている。相手にその色のよさを伝えるためには、“I like ～.”や“Do you like ～?”などの対話を続けるための表現を取り入れながら自分の行きたいという思いを伝えることが大事である。また、ここでいう「積極的に聞く」とは、相手の目を見て聞いたり、うなずく、繰り返す、称賛するといった反応を示しながら聞いたりすることである。積極的に聞くことで、お互いに安心感をもっておすすめの色を紹介し合うことができると考える。

ウォームアップでは、本時のアクティビティーで使う“Where do you want to go?” や“I want to go to～.”等の表現に慣れ親しむことをねらいとしている。そのために、リズムよくチャンツを行う。

本時の中心となる活動では、自分のおすすめの色を紹介し合う。ここでは、対話を続けるための表現を取り入れながらその色のよさが伝えられるような紹介になることをねらいとしている。そのために、活動（1）では、2種類のデモンストレーションを見せる。はじめに、担任とNSの演示（デモンストレーション①）を見せ、対話を続けるための表現を取り入れながら紹介する姿のイメージをもたせる。その後、同学年の教師が紹介し合っている様子のビデオ（デモンストレーション②）を見せ、うなずく、繰り返す、“me, too.”や“good.”などの反応をする等によりよい聞き手のイメージをもたせ、活動に生かせるようにする。

活動（2）では、前半と後半に分けて、おすすめの色を紹介し合う。その際、どの児童も自信をもって発表できるように、担任とNSとで言い方を助言する。また、前半と後半を交代する際に、積極的に会話を続けようとしていた児童や、よい反応をしていた児童を担任とNSで称賛することで学級全体の意欲を高める。

9 本時の展開 (5/5) コミュニケーション

目標：おすすめの国について，基本表現と対話を続けるための表現を用いて発表したり，積極的に友達を発表を聞いたりする。

評価規準：基本表現と対話を続けるための表現を用いながら相手に伝わるように発表したり，友達を発表を積極的に聞いたりしている。【コ】

準備：【教師】世界地図，シール，教師用紹介カード，ふり返りカード【児童】Hi, friends!2, 紹介カード

| 過程 | 児童の活動 | 担任の支援 | NSの支援 | 教材・評価場面 |
|----------------------------------|---|--|--|--|
| あいさつ (2) | 1 あいさつをする。 | ・ <u>Hello, everyone.</u> | ・児童，担任とあいさつを交わす。 | |
| ウォームアップ (3) | 2 チャンツ②③をする。 | ・ clear voice を意識するよう促す。 | ・ チャンツをする。 | ・ 電子黒板 ・ デジタル教材 |
| めあて (1) | 3 めあてを知る。 | ・ <u>Today's aim is</u> ～ | | |
| これまでに習った表現を使って，おすすめの国のよさを紹介し合おう。 | | | | |
| 活動 (30) | 4 おすすめの国を紹介し合う。 (1) デモンストレーション①(担任とNS)で，本時で使う表現を確認し，デモンストレーション②(ビデオ)で，聞き手の反応の仕方を確認する。 (2) 友達と紹介し合う。 ・前半(8分) ・前半の活動の振り返り ・後半(8分) ・後半の活動の振り返り | ・ <u>First is demonstration.</u> ・ NS とデモンストレーション①をする。 ・ 聞き方に注目させながらデモンストレーション②のビデオを見せる。 ・ <u>Next is “おすすめ</u> <u>の国を紹介しよう”.</u> ・ よい交流をしていたグループを取り出し，よさに気付かせ，後半の活動に生かせるようにする。 ・ 後半さらによくなったグループを称賛する。 | ・ 担任とデモンストレーションを行い，やりとりの仕方を確認する。 ・ 児童の様子を見て回り，Do you like～?等の対話を続けるための表現を使って会話を広げる。 ・ 児童のよいところをほめる。また，後半に頑張してほしいポイントを紹介する。 ・ 後半さらによくなったグループを称賛する。 | ・ 紹介カード ・ シール <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価場面と見取りの姿 おすすめの国を紹介し合っている場面 ○ おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を使って紹介している(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) </div> |
| ふり返り (8) | 5 ふり返りカードに感想を記入し，交流する。 | ・ めあてをもとにふり返るよう指示する。 | ・ 自己評価3以上にgoodを書いて回る。 | ・ ふり返りカード |
| あいさつ (1) | 6 あいさつをする。 | ・ <u>That's all for today.</u> <u>Thank you Chron sensei.</u> ・ <u>See you again.</u> | ・ 出口で一人ひとりとあいさつを交わす。 | |

● 本時活動の詳細

「おすすめの国を紹介し合おう」

○ ねらい

おすすめの国について発表したり、積極的に友達の発表を聞いたりする。

○ 準備

紹介カード、シール、世界地図

○ 進め方

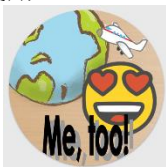
※留意点

・話し手は、基本表現と対話を続けるための表現を使いながら、おすすめの国を紹介する。

・聞き手は、リアクションをとったり、シールを貼ったりしながらやりとりをする。

| 担任 | NS |
|--|---|
| (1) 活動で使う表現を確認しながら NS とデモンストレーションを行う。 | 担任とデモンストレーションをする。その際，“Me, too.” や “nice country” シールをはりながら聞く。 |
| <p>NS : Where do you want to go? (どこの国に行きたいかを尋ねる)</p> <p>担任 : I want to go to Italy. (行きたい国を答える)</p> <p>NS : Oh, Italy!</p> <p>担任 : Where is Italy? (その国が地図上のどこにあるかを尋ねる)</p> <p>NS : Here. (地図を指さす)</p> <p>NS : Why? (理由を尋ねる)</p> <p>担任 : Chron sensei, do you like pizza?</p> <p>NS : Yes I do. I like pizza.</p> <p>担任 : You can eat pizza. (その国で食べられるものを紹介する)</p> <p>NS : Wow.</p> <p>担任 : What pizza do you like?</p> <p>NS : I like ○○ pizza.</p> <p>担任 : I want to see soccer game. I like soccer. (見たいものを紹介する)</p> <p>NS : Me ,too. (シールを貼る)</p> <p>担任 : I want to see The Mouth of Truth. (見たいものを紹介する)</p> <p>NS : Wow. Nice country. (シールを貼る)</p> <p>担任 : Let's go to Italy. (一緒に行こうと誘う)</p> <p>NS : Let's go.</p> <p>担任 : Thank you. (あいさつをする)</p> | |
| (2) 友達とおすすめの国を紹介し合う。 ・前半 ・後半 | 前半の振り返りの際に、児童のよいところをほめる。また、後半に頑張ってほしいポイントを紹介する。 |

【使用したシール】

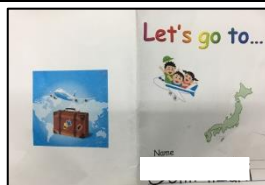


自分も食べたい、見たい、行きたいと思ったときに貼る。



いい国だな。行きたくなかったなと思ったときに貼る。

【紹介カード】



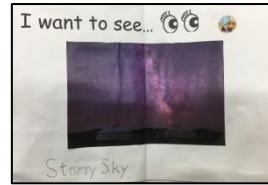
② 表紙



① 国名と国旗



④ 国で見られるもの



③ 国で見られるもの

| | | | | | |
|--------------------|---|--|--|--|--|
| ① 月 日 () | ・国あてクイズを通して、国名やその国のことが分かりましたか。 | | | | |
| | ・キーワードゲームで国名を言いましたか。 | | | | |
| | ◆国あてクイズやクロン先生のおすすめの国紹介を聞いて思ったことを書きましょう。 | | | | |
| ② 月 日 () | ・行きたい国をたずねたり答えたりしましたか。 | | | | |
| | ・その国に行きたい理由を言いましたか。 | | | | |
| | ◆自分が行きたい国と行きたい理由を3つ書きましょう。 行きたい国 () | | | | |
| | 理由① | | | | |
| ② | | | | | |
| ③ | | | | | |
| ③ 月 日 () | ・国名を英語で書いて、紹介カードを作りましたか。 | | | | |
| | ◆おすすめの国紹介カードを作った感想やこれからがんばりたいことを書きましょう。 | | | | |
| | | | | | |
| ④ 月 日 () | ・これまでに習った英語をつかいましたか。 | | | | |
| | ・友達の紹介を聞いて、アドバイスをすることができましたか。 | | | | |
| | ◆ペア発表会をした感想や、次回がんばりたいことを書きましょう。 | | | | |
| ⑤ 月 日 () | ・その国のよさが伝わるように、習った表現を使って紹介しましたか。 | | | | |
| | ・友達の発表を、反応しながら聞きましたか。 | | | | |
| | ◆おすすめの国を紹介し合った感想を書きましょう。 | | | | |
| | | | | | |

● 第1時 (1/5) **気付き** **慣れ親しみ**

目標：世界の国々に興味をもち、単元のゴールの姿の見通しをもつとともに、国名に慣れ親しむ。

評価規準：世界には様々な国があり、そこには様々な自然、遺産、文化、生活などがあることに気づく。

準備：【教師】世界地図、国あてクイズのスライド、国名カード、振り返りカード 【児童】Hi, friends!2

| 過程 | 児童の活動 | 担任の支援 | NSの支援 | 教材・評価場面 |
|-------------|--|--|--|--|
| あいさつ (1) | 1 あいさつをする。 | ・ <u>Hello, everyone.</u> | ・ 児童、担任とあいさつを交わす。 | |
| ウォームアップ (3) | 2 今までの学習を振り返る。 | ・ 県人会との交流や、世界の祭りを調べたときのことを想起させる。 | | ・ 世界地図 ・ 県人会の国々の掲示物 |
| めあて (2) | 3 めあてを知る。 | ・ <u>Today's aim is ~</u> 世界の様々な国のことを知ろう。 | | |
| 活動 (3 2) | 4 国あてクイズをする。 (1) 担任と NS のデモンストレーションを見て、ヒントのもらい方やクイズの答え方を確認する。 (2) 国あてクイズをする。 ・ 写真3枚×10カ国。 ・ フランス、中国、オーストラリアについては、Hi, friends!2 の動画も見せる。 5 NS のおすすめの本の紹介を聞く。 | ・ <u>Next is “国あてクイズ”</u> . NS : What country is this? You can eat ○○. 担任 : Hint, please. It's○○. ・ 苦手な児童でも活動に参加できるように、グループで答えるよう促す。 ・ NS のおすすめの本はどこか尋ねる。 ・ 第5時では、NS のように、おすすめの本について友達と紹介し合うことを伝える。 | ・ クイズ後に、数人の児童に行ってみたい国を聞く。 ・ NS のおすすめの本(シンガポール)についての紹介をする。 | 評価場面と見取りの姿 国あてクイズをしている場面 ○ 世界には様々な国があり、そこには様々な自然、遺産、文化、生活などがあることに気づいている。(言語や文化に関する気付き) |
| | 6 キーワードゲームをする。 | ・ <u>Next is “キーワードゲーム”</u> . | ・ 国名の言い方を紹介する。 | |
| 振り返り (6) | 7 振り返りカードに感想を記入し、交流する。 | ・ めあてをもとに振り返るよう指示する。 | ・ 自己評価3以上に good を書いて回る。 | ・ 振り返りカード |
| あいさつ (1) | 8 あいさつをする。 | ・ <u>That's all for today.</u> <u>Thank you ○○ sensei.</u> ・ <u>See you again.</u> | ・ 出口で一人ひとりとあいさつを交わす。 | |

● 第1時活動の詳細

「国あてクイズ」「キーワードゲーム」

○ ねらい

世界の国々に興味をもち、単元のゴールの姿の見通しをもつとともに、国名に慣れ親しむ。

○ 準備

国あてクイズのスライド（国の特色を表す建物、食べ物、動物、人物など）、世界地図、国旗カード

○ 進め方

※留意点

- ・ヒントのもらい方やクイズの答え方を知るために、担任と NS のデモンストレーションを見せる。
- ・第5時で行うおすすめの国の発表の仕方を知るために、NS のおすすめの国の紹介を聞かせる。

| 担任 | NS |
|---|--|
| <p>4 国あてクイズ</p> <p>(1) NS とデモンストレーションをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>NS : What country is this? You can eat ○○. Do you like ○○? 担任 : Yes, I do. Hint, please. NS : I can see ○○. 担任 : It's○○. NS : That's right./No, sorry. ※ Can you が使えるときは使う。</p> </div> <p>(2) 国あてクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童でも参加できるように、グループ対抗で行い、声をそろえて回答するよう伝える。 ・フランス、中国、オーストラリア の動画を見せる。 | <p>・担任とデモンストレーションをする。</p> <p>・クイズを出題する（写真3枚×10カ国）</p> |
| <p>5 NS のおすすめの国の紹介を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>担任 : Where do you want to go? (どこの国に行きたいか尋ねる)</p> <p>NS : I want to go to Singapore. (行きたい国を答える)</p> <p>担任 : Oh, Singapore! Why?</p> <p>NS : I want to eat ○○. Do you like chicken? (食べたいものを答える)</p> <p>担任 : Yes I do. I like chicken.</p> <p>NS : I want to see Marr lion. I like Marr lion. The face is lion. The body is fish. What animal do you like? (見たいものを紹介する)</p> <p>担任 : I like elephant. (好きなものを答える)</p> <p>NS : Oh, elephant! Nice.</p> <p>You can see ○○. (できることを紹介する)</p> <p>担任 : Wow, very beautiful want to see that, too.</p> <p>NS : Let's go to Singapore. (一緒に行こうと誘う)</p> <p>担任 : Yes, let's.</p> </div> | |
| <p>6 キーワードゲーム</p> <p>(1) 国名の言い方を確認する。</p> <p>(2) キーワードゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hi, friends!2 に載っている10カ国の国名を使う。 ・児童と一緒に、Where do you want to go? と聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国名の言い方を発音する。 ・I want to go to ~.の表現を使いながら、リズムよく国名を言っていく。 |

● 第2時 (2/5) **慣れ親しみ**

目標：国名や、行きたい国を尋ねたり答えたりして、理由を言う表現に慣れ親しむ。

評価規準：国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を言っている。また、行きたい理由を言っている。

準備：【教師】ワークシート、国旗カード、なりきり紹介カード、振り返りカード 【児童】Hi, friends!2

| 過程 | 児童の活動 | 担任の支援 | NSの支援 | 教材・評価場面 |
|----------------|--|---|---|--|
| あいさつ (2) | 1 あいさつをする。 | ・ <u>Hello, everyone.</u> | ・ 児童、担任とあいさつを交わす。 | |
| ウォームアップ (3) | 2 チャンツ②をする。 | ・ <u>clear voice</u> を意識するよう促す。 | ・ チャンツをする。 | |
| めあて (1) | 3 めあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現を使ってゲームをしよう。</div> | ・ <u>Today's aim is ~</u> | | |
| 活動 (30) | 4 ゲームを通して、国名や行きたい国を言う表現に慣れ親しむ。 「ドンジャンゲーム」 (1) 国名を確認する。 (2) 担任と NS のデモンストレーションを見る。 (3) ドンジャンゲームをする。 5 ゲームを通して、行きたい国を尋ね方、答え方、行きたい理由の言い方に慣れ親しむ。 「なりきり紹介ゲーム」 (1) 担任と NS のデモンストレーションを見る。 (2) 学年の先生になりきり、行きたい国を紹介する。 (3) どの先生かをあてる。 | <u>First, ドンジャン game.</u> ・ ゲームの勝ち負けにこだわりすぎて、発話が雑になってしまうよう声かけをする。 <u>・ Next is “なりきり紹介ゲーム”.</u> <u>First, demonstration.</u> ・ NS とデモンストレーションを行い、ゲームの仕方を演示する。 | ・ 国名の発音を確認する。 ・ 児童の様子を見て回り、言えていない児童には支援する。 ・ 児童のよかったところを中心にコメントを言う。 | ・ 国旗カード 評価場面と見取りの姿なりきり紹介ゲームをしている場面 ○ 国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を言っている。また、行きたい理由を言っている。(外国語活動への慣れ親しみ) ・ なりきり紹介カード |
| 振り返り (8) | 6 振り返りカードに感想を記入し、交流する。 | ・ めあてをもとに振り返るよう指示する。 | ・ 自己評価 3 以上に good を書いて回る。 | ・ 振り返りカード |
| あいさつ (1) | 7 あいさつをする。 | ・ <u>That's all for today.</u> <u>Thank you ○ ○ sensei.</u> ・ <u>See you again.</u> | ・ 出口で一人ひとりとあいさつを交わす。 | |

● 第2時活動の詳細

「ドンジャンゲーム」

○ ねらい

国名と行きたい国の言い方に慣れ親しむ。

○ 準備

国旗カード

○ 進め方

- ① I want to go to (国名) といいながら進んでいく。
- ② 反対側から来たチームとじゃんけんをして、勝てば進める。

【なりきり紹介ゲームのヒントカード】



「なりきり紹介ゲーム」

○ ねらい

行きたい国の尋ね方や答え方、行きたい理由の言い方に慣れ親しむ。

○ 準備

なりきり紹介ゲームのヒントカード(拡大), なりきり紹介カード

○ 進め方

※留意点

- ・なりきり紹介カードをもとに、行きたい国とその理由3つを紹介させる。
- ・基本表現だけでなく、今までに慣れ親しんだ、対話を続けるための表現も使っていることに気付かせる。

| 担任 | NS |
|---|---|
| <p>(1) 行きたい国のヒントカードを全員に配り、どの人(学年の先生)がどの国に行きたいのかを予想させる。</p> <p>(2) NSとデモンストレーションをする。</p> | <p>行きたい国のヒントカードにある国旗やその理由の言い方を順番に紹介する。</p> <p>担任とデモンストレーションをする。</p> |
| <p>担任: Where do you want to go? (どこの国に行きたいか尋ねる)</p> <p>NS: I want to go to Italy. (行きたい国を答える)</p> <p>担任: Oh, Italy! Why? (理由を尋ねる)</p> <p>NS: I want to eat pizza and cheese. (食べたいものを答える)</p> <p>NS: Do you like soccer?</p> <p>担任: Yes, I do.</p> <p>NS: You can see soccer game. (できることを紹介する)</p> <p>担任: Oh, very nice.</p> | |
| <p>(3) 各グループになりきり紹介カードのセットを配る。順番にカードの人物になりきってグループのメンバーに紹介する。</p> <p>(4) 誰になっているのかをグループで考えるように促す。</p> | <p>各グループを回って、一緒に答える。</p> |

● 第3時 (3/5) 慣れ親しみ

目標：紹介カードを作り，国名や，行きたい国の尋ね方と答え方，理由を言う表現に慣れ親しむ。

評価規準：紹介文を考えながらおすすめの国紹介カードを作っている。

準備：【教師】紹介カード (NS・HRT 用)，発表用タブレット，画用紙，振り返りカード，マジックペン，Hi, friends!2 【児童】Hi, friends!2, のり，はさみ

| 過程 | 児童の活動 | 担任の支援 | NS の支援 | 教材・評価場面 |
|---|---|--|--|--------------------------|
| あいさつ (1) | 1 あいさつをする。 | ・ <u>Hello everyone.</u> | ・ 児童，担任とあいさつを交わす。 | |
| ウォームアップ (2) | 2 チャンツ③をする。 | ・ <u>clear voice</u> を意識するよう促す。 | ・ チャンツをする。 | |
| めあて (1) | 3 めあてを知る。 | ・ <u>Today's aim is～</u> | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> おすすめの国を紹介するカードを作ろう。 </div> | | | | |
| 活動 (35) | 4 おすすめの国紹介カードを作る。 (1) NS と HRT のデモンストレーションを見て，おすすめの国紹介カードの内容と紹介文の表現を確かめる。 (2) 紹介文を考えながら，おすすめの国紹介カードを作る。 | <u>First demonstration.</u> ・ NS とデモンストレーションを行い，紹介カードと表現を確かめる。 ・ <u>Next is ‘おすすめの国紹介カードを作ろう’.</u> | ・ ジェスチャーを交え，ゆっくりはっきりと発音してデモンストレーションをする。 ・ 表現や単語がわからずに困っている児童には，ゆっくり発音して聞かせ，児童にも繰り返して発音させるようにする。 | ・ おすすめの国紹介カード ・ タブレット |
| 振り返り (5) | 5 振り返りカードに記入し，感想を交流する。 | ・ めあてをもとに振り返るよう指示する。 | ・ 自己評価3と4の児童に good を書いて回る。 | 振り返りカード |
| あいさつ (1) | 6 あいさつをする。 | ・ <u>That's all for today.</u> ・ <u>Thank you</u> ○○ <u>sensei.</u> ・ <u>See you again.</u> | ・ 出口で一人ひとりとあいさつを交わす。 | |

評価場面と見取りの姿
 おすすめの国紹介カードを作っている場面
 ○ 紹介文を考えながらおすすめの国紹介カードを作っている。
 (外国語への慣れ親しみ)

● 第3時活動の詳細

「おすすめの国紹介カードを作ろう」

○ ねらい

紹介カードを作り、国名や、行きたい国の尋ね方と答え方、理由を言う表現に慣れ親しむ。

○ 準備

【教師】紹介カード (NS・HRT用)、画用紙、写真プリント、マジックペン

【児童】Hi, friends!2, のり, はさみ

○ 進め方

| 担任 | NS |
|---|--|
| (1) NS とデモンストレーションをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 担任とデモンストレーションをする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>NS : Where do you want to go?</p> <p>担任 : I want to go to Egypt. (おすすめの国紹介カードを見せながら)</p> <p>担任 : I want to ride on a camel.</p> <p>NS : (うなずきながら聞く。)</p> <p>担任 : You can see the pyramid.</p> <p>NS : (うなずきながら聞く。)</p> <p>担任 : Let's go to Egypt.</p> <p>担任 : Yes, lets'.</p> </div> | |
| <ul style="list-style-type: none"> 紹介カードを見せて、出来上りをイメージさせる。 ゆっくりくり返し発音して聞かせる。 ジェスチャーを交えて発音する。 <p>(2) 話し手が使用した表現を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>I want to go to ~.</p> <p>I want to (eat, see) ~.</p> <p>You can~.</p> <p>Let's go to ~.</p> </div> <p>(3) 他にも使えそうな動作表現があれば、確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Play, swim, cook, watch, ride, ...</p> <p>Do you like ~?</p> <p>Can you ~?</p> </div> <p>(4) 担任と NS の紹介カードを再度見せて出来上りをイメージさせる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ゆっくりくり返し発音して聞かせる。 ジェスチャーを交えて発音する。 |

●第4時（4／5）

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

目標：おすすめの国について基本表現と対話を続けるための表現を用いて、ペアで交流しアドバイスしあう。

評価規準：おすすめの国についてペアで交流し、アドバイスしている。【コ】

準備：【教師】紹介カード、ワークシート、振り返りカード 【児童】Hi, friends!2, 紹介カード

| 過程 | 児童の活動 | 担任の支援 | NSの支援 | 教材・評価場面 |
|----------------|--|--|--|---|
| あいさつ (1) | 1 あいさつをする。 | ・ <u>Hello, everyone.</u> | ・ 児童，担任とあいさつを交わす。 | |
| ウォームアップ (3) | 2 チャンツ③をする。 | ・ clear voice を意識してできるように促す。 | ・ チャンツをする。 | |
| めあて (1) | 3 めあてを知る。 | ・ <u>Today's aim is～</u> | | |
| | おすすめの国のよさが伝わるように、ペア発表会をしよう。 | | | |
| 活動 (34) | 4 おすすめの国の紹介の仕方を考える。 (1) NS と HRT のデモンストレーションを見て、話し手の工夫について考える。 (2) ペアで使えるような対話を続けるための表現を選ぶ。 5 班でペア発表会をする。 | ・ 対話を続けるための表現をたくさん使ってよさを伝えていることに気付かせるために強調してデモンストレーションをする。 ・ 掲示物を見るように促し、対話を続けるための表現を確かめさせる。 ・ 英語の発音が不安な児童がいたら、一緒に練習をする。 | ・ デモンストレーションをする。 ・ 対話を続けるための表現を発音し、児童に繰り返して発音させるようにする。 ・ 英語の言い方が分からない児童を支援する。 ・ 児童のよいところをほめる。 | 評価場面と見取りの姿 ペア発表会をしている場面 ○ おすすめの国についてペアで交流をしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ○ 友達にアドバイスをしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) |
| 振り返り (5) | 6 振り返りカードに記入し、感想を交流する。 | ・ めあてをもとに振り返るよう指示する。 | ・ 自己評価3以上に good を書いて回る。 | 振り返りカード |
| あいさつ (1) | 7 終わりの挨拶をする。 | ・ <u>That's all for today.</u> <u>Thank you ○○sensei.</u> ・ <u>See you again.</u> | ・ 出口で一人ひとりとあいさつを交わす。 | |

● 第4時活動の詳細

「ペア発表会をしよう」

○ ねらい

おすすめの国についてペアで交流しアドバイスしあう。

○ 準備

対話を続けるための表現の掲示物、
紹介カード



※留意点

- ・次時の見通しがもてるよう、発表会と同じ方法でペア発表会を行う。
- ・アドバイスされたことを生かせるよう、メンバーを変えて、2回発表できるようにする。

○ 進め方

| 担任 | NS |
|---|---|
| <p>(1) その国のよさが伝わるような話し手の工夫に着目させながらNSとデモンストレーションを行い、対話を続けるための表現をたくさん使っていることに気付かせる。</p> | <p>・担任とデモンストレーションをする。</p> |
| <p>NS : Where do you want to go? 担任 : I want to go to Italy. NS : Oh, Italy! Why? 担任 : I want to eat pizza. Do you like pizza? NS : Yes I do. 担任 : I want to see soccer game. I like soccer. NS : Oh, very nice. 担任 : Let's go to Italy.</p> <p>～advice time～</p> <p>NS : clear voice is good. “Do you like pizza?” question was good When you talk about the soccer, please ask me a question one more. 担任 : O.K. Thank you.</p> | |
| <p>(2) ペアに対話を続けるための表現を確認する。</p> <p>(3) 班（4人組）でペア発表会をする。</p> | <p>・英語の言い方が分からない児童を支援する。</p> <p>・英語の言い方が分からない児童を支援する。</p> <p>・児童のよいところをほめる。</p> |

協議会報告

- 1 授業日 平成 29 年 11 月 30 日 (木)
- 2 出席者 21 人
- 3 授業内容
単元名 Let's go to Italy. 友達を旅行にさそおう

4 指導の実際

(1) 基本表現と対話を続けるための表現を使ったデモンストレーションの設定

- ・デモンストレーションで気付かせたいポイントを児童が分かりやすいように、前時のペア発表会で対話を続けるための表現をおさえて、本時では反応に着目させた。
- ・話し手と聞き手でのデモンストレーション①と、実際の活動を同じシチュエーションでのデモンストレーション② (VTR 版) に分けて見せたことで、基本表現だけでなく対話を続けるための表現を使ったりリアクションをとったりするよさや活動の仕方に気付かせようとした。
- ・自分の主張だけではなく相手の思いも配慮しながら行きたい国をおすすめできるように、基本表現だけでなく相手の思いを尋ねる表現も使ったデモンストレーションを行った。
- ・中間評価の際、児童が活動をそのまま再現することは難しいので、どんな対話を続けるための表現を使っているかわかるように担任と GT がデモンストレーションで見せた。

(2) 基本表現と対話を続けるための表現を使った表現の掲示

- ・全員が安心して活動を進めることができるように、デモンストレーションを見せるときに基本表現を言いながら掲示した。また、デモンストレーションでどの対話を続けるための表現が使われたか確認することで、おすすめの国のよさが相手により伝わりやすくなるよさに気付かせた。
- ・ペア発表会で「行きたくなった度カード」をつけさせた。

(3) その他

- ・本時活動では、できるだけ違う国やペア発表会で一緒になっていないグルーピングになるようにした。
- ・紹介カードは、担任や GT が児童に一对一で質問して答えた写真を渡し、他の児童の情報ができるだけ分からないようにして作らせた。
- ・週に 1 回の English タイム(朝活動)で、Do you like ゲームなどで簡単な対話を続けるための表現に慣れ親しませた。

5 考察

(1) 基本表現と対話を続けるための表現を使ったデモンストレーション

- VTR で見せるデモンストレーション②は、本時活動の流れや形態と同じであったため、児童にとって分かりやすかった。
- 中間評価で、児童自身が自分たちの活動を再現するのは難しいため、手本となる児童を GT が真似てデモンストレーションをしたことは、後半の活動で意識付けたいことをおさえることができ、意欲付けにもつながり有効だった。
- 基本表現だけでなく対話を続けるための表現も使ったことで、より思いを伝えることができた実感する児童がいた。
- 対話を続けるための表現やリアクションの言い方も確認したことで、「リアクションしてくれて嬉しかった。」と、思いが相手に伝わった喜びを感じる児童が多かった。
- 自分の思いを伝えるためには、聞く側も相手が言いたいことを聞き取れないといけないため、“One more time, please.”と尋ねたり、聞き取ったことをくり返し確かめたりするデモンストレーションもい

れる必要があった。

- 活動前のデモンストレーション②で，“I want to eat pizza.”という表現に対し，“Wow!”などのリアクションをするだけでなく，“You like pizza.”などの表現も使った方が、「思いを伝えるよさ」に気づかせることができたと思われる。
- 中間評価のデモンストレーションの際、好ましい表現とそうでない表現についてのデモンストレーションを見せたが、表現の内容だけでなく、表情も違っていたので、どこが大切なのがわかりにくかった。

(2) 基本表現と対話を続けるための表現の掲示

- 基本表現や対話を続けるための表現の掲示物を見ながら活動を進める児童が多かった。
- 基本表現が掲示されていることで、支援を必要としている児童が、掲示物を見ながら自信をもって思いを表現できていた。また、友達の発表に対して何と言っていいかわからない場合も、掲示物を見て“Yes, I do.”などの対話を続けることができていた。

(3) その他

- 友達の発表を聞いて、2 番目、3 番目に行きたい国を決めさせるという活動があれば、より相手の思いや考えを受け取りながら友達の発表を聞くことができたであろう。

| 教師の指示・児童の反応（主なもの） | 活動の形態・様子 |
|--|----------|
| <p>〈あいさつ〉〈ウォームアップ〉</p> <p>Ss: Hello, ○○ sensei and ○○ sensei.</p> <p>N: Hello.</p> <p>T: Hello. OK.</p> <p>N: Good job readers. Hello. How are you?</p> <p>Ss: I'm happy.</p> <p>N: Oh, happy. ○○ sensei, how are you?</p> <p>T: I'm sleepy, but fine.</p> <p>N: Why are you sleepy?</p> <p>T: Last night, I didn't sleep. I'm nervous.</p> <p>N: Fight.</p> <p>T: OK. Let's chants.</p> <p>N: Clear voice OK?</p> <p>Ss: OK.</p> <p>（チャンツ 1, 2, 3）</p> <p>N: Good job.</p> <p>T: この単元の学習の流れを振り返っていきましょう。○○先生の行きたい国を知ったよね。なりきり紹介ゲームをやって、○○先生に教えてもらいながらカードを作りました。そしていよいよ今日は本番です。前はコミュニケーション活動①をしたんだけど、よかった感想を紹介します。「自分の行きたいところや食べたいものを発表できてよかったです。次は質問もしたいです。今日もらったアドバイスをもとに、もっといい発表にしたい。」</p> <p>〈めあての確認〉</p> <p>T: 今日のめあてです。（めあてを提示）2つのポイントが隠れています。何でしょう。</p> <p>S1: 「これまでに使った表現を使って」だと思います。どうですか。</p> <p>Ss: いいです。</p> <p>T: “I want to go to~.” や“Let's go to Italy.”だけでなく、これまでに習った“I like ~”, “You like ~”, “Do you like ~.”のような言葉が皆さんの会話からたくさん聞こえて、よさが伝わったらいいと思います。では、デモンストレーションをします。</p> <p>〈デモンストレーション①〉</p> <p>N: Hello.</p> <p>T: Hello.</p> <p>N: Where do you want to go?</p> <p>T: I want to go to Italy.</p> <p>N: Oh, Italy. Nice.</p> <p>T: Where is Italy?</p> <p>N: Help me. Down, Up, light, left.</p> | |

Ss: Left, left, down, down, light, stop.

N: Thank you. Here.

T: That's right.

N: Why?

T: ○○ sensei, do you like pizza?

N: Yes I do. I love pizza.

T: What pizza do you like?

N: I like Margherita.

Ss: Margherita?

N: I like Margherita.

T: I like Margherita, too. I want to see soccer game. I like soccer.

N: Me too. (シールを貼る)

T: I want to see The Mouth of Truth.

N: Wow. Nice country.

T: Let's go to Italy.

N: Nice country. Let' go.

T: もう一つの (めあてのポイント) は, 「しあおう」です。もう一つデモンストレーションでよい反応をする人たちが出てきます。

〈デモンストレーション② ビデオ〉

Tt: Where do you want to go?

T1: I want to go to Italy.

T2: Oh, Italy. Nice.

T1: Where is Italy?

T3: Here.

T1: Yes.

Tt: Why?

T1: Do you like pizza?

T3: Yes I do. (笑顔でうなづく)

T4: Me too. Delicious.

T1: I want to see soccer game. I like soccer. Do you like soccer?

Tt: Yes I do.

T1: I want to see The Mouth of Truth.

Tt: Wow. Nice country.

T1: Let's go to Italy.

Tt: Let' go. Nice country.

T: 何て言ってた?

Ss: 「うん, うん。」

T: うんうんとうなづくしていたね。"I want to go to Italy."て言ったら?

Ss: "Oh."

T: あと何て言ってた? I like pizza.と言ったら?

Ss: "Me too. Delicious."

N: Anymore? "Let's go to Italy."



図一 1 デモンストレーション①を聞いている様子

・教師と NS の問いかけに対して、きちんと英語で受け答えをしていた。

・ジェスチャーがあったことに気づいている児童はジェスチャーもつけてしっかりと答えていた。

Ss: "Nice country."

N: So, please use many gesture, smile, reaction. OK?

Ss: OK.

N: Very good.

T: 場所の確認をします。(活動場所を指示する)

N: Ready go.

〈前半の活動〉

Ss: Where do you want to go?

S1: I want to go to Greece.

Ss: Wow.

S1: Where is Greece? (しばらく待って) Time up.

S2: あった。これ。

Ss: Why?

S1: I want to eat Greek yogurt. Do you like Greek yogurt?

Ss: Yes I do.

S1: I want to see super view.

S2: What's this?(絶景の説明をする)

S1: えー。Super beauty. Let's go to Greece, Greece, Greece!

Ss: Let's go.

S1: イエーイ。お願いします。(評価シールを貼ってもらう)

N: Let's go. Good job.

Ss: Where do you want to go?

S3: I want to go to America.

Ss: Wow. いえーい。America.

S3: Where is America?

Ss: Here. Why?

S3: I want to see Statue of liberty. I want to eat hamburger.

Ss: Wow. Me too.

S3: Do you like hamburger?

S4: I love hamburger.

S3: I want to see beautiful sea.

Ss: Me too.

S3: Can you swim?

S4: So so.

S3: I want to go to California Disneyland.

S4: It's cute. (評価シールを貼る)

S3: Let's go to America.

Ss: いえーい。Let's go.

S3: Thank you.

Ss: Where do you want to go?

・“Where is Greece?”と発表者から問われると、机上の地図を見て友達と協力して国の場所を探していた。



図一 世界地図でギリシャを探している様子

・カードを相手に見えるように提示しながら、発表をしていた。



図一 紹介カードを使った発表をしている様子

・次に何を言えばいいのか、黒板を見て確認していた。

S6: I want to go to Italy.
Ss: Wow.
S6: Where is Italy?
Ss: Here. Why?
S6: I want to eat Mozzarella cheese. Do you like Mozzarella cheese?
Ss: ー。
S6: 食べたことないよね。I want to see Leaning Tower of Pisa.
S7: Wow. もう倒れそう。
S6: Let's go to Italy.
Ss: いえーい。Let's go.

N:Time up. Time up.

<中間評価>

T: とてもいいリアクションとか見られたので、先生が真似してみよう
と思います。

N: A・B, which is better?

T: デモンストレーションA。 I want to eat pizza.

N:(何の反応もしないで聞く)

T: I want to see soccer game.

N:(何の反応もしないで聞く)

T: デモンストレーション B。 I want to eat pizza.

N: Wow! Pizza! Looks delicious! Nice.

T: Thank you. I want to see soccer game.

N: Oh, soccer game. I like soccer, too.

N: What team do you like?

T: Liverpool.

N: Liverpool?

T: I like Liverpool.

N: Wow, very good.

T: Finish. さあ! Which is better? Which is good?

Ss:B!

T:Why?

Ss:リアクション。

T:他には? I like Pizza!

N:Pizza!

T:何してるの?

S1:質問。

S2:繰り返し。

N:Very good.

T:「繰り返し」 in English?

N:Repeat.

T:あと, Nice smile. Eye contact. いっぱいできている人いました。

・反応の仕方が分からないときや、
友達が英語で何と言っていいか悩ん
でいるときは、対話を続けるための
表現の掲示物を参考に対話を続けて
いた。

・NS が何も反応していないことに
気付いたり、“Me, too.”とつぶやいて
聞いたりしている児童がいた。



図一四 よかった活動のデモンスト
レーション(中間評価)を見ている様
子

N:Very good Good job.

T:OK. 2回目, もっともっと smile, clear voice がんばりましょう。

<後半の活動>

Ss :Where do you want go?

S1 :I want to go to France.

Ss :Me, too. Why?

S5 :Do you like macron?

S6 :Yes,I do.

S1 :I like macron. Looks delicious.

S5 :I like Louvre Museum.

Ss :Wow.

S5: Let's go to France.

Ss: Let's go.

Ss :Where do you want go?

S7 :I want to go to Egypt.

Ss :Why?

S7 :I lile pyramid.

S8 :Me too.

S7 :I like sphinx.

S8 : Sphinx?

S7 :You can ride a camel.

Ss :Wow.

S7 :Let's go to Egypt.

Ss :Let's go. Nice country.

N :OK. Time up. OK. Here.

T:とてもいい発表のし合いになったんじゃないかな。Very nice.

N :Very good. Good job.

T:よさが, とてもいいところが伝えられたよ, できたよという人。

Ss: (半数以上が挙手)

T: Nice. Very nice. 他の国もいいな, みたいなのとかもあった?

Ss:うん。

T:ここで〇〇先生からコメントを。

N :OK. Very good. Wow, I think everyone did very good job. This class is very energy. Energy! Very happy. I am happy. You are happy. So everyone happy. Very good. I think everybody nice smile, good gestures and nice reaction. Good job.

Ss :拍手

N : Thank you very much.

<振り返り>

・前半よりも明るい雰囲気で紹介し合っていた。

・聞く側は, 発表者の言っていること繰り返したり, 対話を続けるための表現を使ったりして聞く工夫をしていた。また, “Let's go to Italy.”と言いながらこぶしを挙げるなど, リアクションもとることができていた。



図一五 発表者の言ったことを全員で繰り返して確かめながら発表を聞いている様子



図一六 発表後, 評価シールを発表者のカードに貼っている様子

T :Please write your reflection card.

T :誰か発表してくれる人？

S 9:おおすすめの国を紹介したら、いいリアクションをとってくれて嬉しかったです。

S 10:大きな声でリアクションをとりつつ、他の国のよさが分かってよかったです。

T :どこの国のよさがわかった？

S 10:オーストラリア。

S 11:友達のおおすすめの国を紹介してもらって、行ってみたいと思いました。ペア発表会よりもいい発表会ができたのでよかったです。

T :どこに行ってみたいと思った？

S 11:スイス。

T :誰の紹介で？

S 11:Aさん。

S 12:これまでに習った表現を使って、自分のおおすすめの国を紹介できてよかったです。

S 13:行きたい国を英語で言えてよかったです。いろいろな人の行きたい国を知ることができたので、よかったです。

N : Very good.

T :先生も皆さんの発表を聞いてとても楽しかったです。Very happy.そして、いろいろな国にいいところがいっぱいあるんだなと思って、先生も I want to go to みんなのいろいろな国。行ってみたいと思いました。 That's all for today.

・振り返りカードにコメントを書き、発表していた。

・友達が対話を続けるための表現などを使って反応しながら聞いてくれたことで、よりよい発表になったと振り返る児童もいた。